

2005 年は日本映画がおもしろい

2月4日(金)19:00 に例会選定会議を行います

【新年おめでとうございます】

加古川シネマクラブも、何とか活動を行える規模に育ってきました。これも、ひとえに会員皆さんの支援のおかげです。今年もお互いにどうぞよろしく願いたいします。

さて、この会がはじまった当時は、単なる映画鑑賞サークルとして存続することさえ、どうなることかと思っていました。設立から3年が過ぎ、ようやく、全国映連への加盟など対外的な交流や、地域の映画上映会の協力などの活動も行えるようになってきつつあります。

とくに今年は、設立当初からの小さな夢であった、加古川市民会館中ホールで、ちょっと規模の大きな映画上映会を、何とか実現してみようということで、この「初夢」に向かって準備を進めています。

【日本映画は上昇気流】

昨年韓国から韓流ブームが続いていますが、その陰に隠れて、あまり語られていませんが、日本映画に勢いがあつた年でした。「世界の中心で愛をさけぶ」をはじめとしたヒット作もあり、ヒューマンドラマ、時代劇、コメディと、多彩で質の高い作品が多かったことに気づくでしょう。また、中堅から若手の監督作品に、お金はかけていないが、丁寧に仕上げた作品が増えているようです。忘年会や新年会で映画の話題をすると、思っている以上に、同じような感じで日本映画の傾向を語る人が多かったので、とくに、実感しています。

2005年はこの流れを引き継ぎ、前半から良い作品が、目白押しで、次々に上映されます。今年日本映画に注目して、映画館に足を運んでみてはいかがでしょうか。(Y.M.)

【前回例会の報告】

11月17日の例会「ラブストーリー」には、132人の参加がありました。甘くてきれいな見せ場の多い韓国恋愛映画でした。「良かった」とか「感動した」と

という声が多く、素直な感覚で鑑賞していただいていることを実感しました。参加者数と会員数が、やや減少気味で気がかりなところです。

【次回例会のご案内】

名称 / 第16回例会「クジラの島の少女」(102分)

日時 / 2005年1月25日(火)

PM2:00 ~ PM4:20 ~ PM6:40 ~

場所 / 加古川総合文化センター大会議室(JR 東加古川駅北へ徒歩15分、車は加古川バイパス加古川東ランプ北へすぐ)

受付 / 入会手続きが終わっている方は、受付に同封の「例会参加券」をお渡してください。

入会手続きを行っていない方は、受付で4箇月分の会費(2000円)を納入し入会手続きを終えてから、「例会参加券」をお受取りください。

作品データ

タイトル : クジラの島の少女

ジャンル : ドラマ / ヒューマン

監督 : ニキ・カーロ

原作 : ウィティ・イヒマエラ

出演 : ケイシャ・キャッスル＝ヒューズ、ラウイリ・パラテン、ヴィッキー・ホートン、クリフ・カーティス

内容 : 時代の流れの中で次第に伝統的価値が薄れつつあるマオリ族を舞台に、伝統を守ろうと奮闘する長老たちの苦悩や、女であるために伝統を継ぐことを許されない少女がそれでも因習を打ち破り自ら運命を切り開こうとする一途な姿を描く。

ニュージーランドの小さな浜辺の村。祖先の勇者パイケアがクジラに導かれこの地へ辿り着いたという伝説を語り継ぐマオリ族。彼らは代々男を族長として村を守り続けてきた。ある時、族長の長男ポロランギは双子の男女を授かった。だが、喜びも束の間、男の子と母親は出

産時に命を落としてしまう。ポロランギは悲しみに暮れ、一人娘を残して村を去って行った。娘は伝説の勇者と同じ名前パイケアと名付けられ、祖父母のもとで育てられる・・・。

その他：2003年、ニュージーランド・ドイツ、カラー、1時間42分、16mm、2003年アカデミー賞主演女優賞ノミネート、2003年放送映画批評家協会賞若手俳優賞・ファミリー俳優賞、2003年のサングラス映画祭観客賞

今後の例会

第17回例会「チルソクの夏」3月17日(木)

第18回例会「モーターサイクル・ダイアリーズ」5月中旬

【全国フェスに参加して】

11月27日から28日にかけて松山で開催された、全国映連のフェスティバルに参加()してきました。初日は井筒和幸監督の「パッチギ！」鑑賞後、この映画のプロデューサーであるシネカノンの李さんの講演を聴く。映画もよかったがこの「日本映画は再興できる」という講演が素晴らしかった。日本映画の現状や問題点、その原因から将来への展望といった事象？を誇張の少ない明快な言葉で語る。映画にたいする真摯で強烈な「志」といったものを感じさせる講演でした。夜の交流会でも李さんのまわりは、まるで「リ様騒動」、隣に座ってうっとり横顔に見惚れている女が多かったネ。次の日は各分科会に分かれて討議、李さんを囲んで「日本映画の再興」を語る会に参加。大変充実した2日間だった。松山のマネキネマの人達には、解散後も松山を色々と案内してもらい大変お世話になりました。謝々感涙。(山本友好)

日本各地で行われる、映画関連行事に、「加古川シネマクラブ」を代表して参加する場合には、参加費の一部(交通費、宿泊費は不可)を助成いたしますので、ご相談ください。

【忘年会の報告(2004年映画ベスト5を選出)】

12月13日に忘年会を開きました。参加者は12名と、いつもの運営委員会と違って、出席率も高く遅刻も無しという宴会好きという正直な性格の皆さんが集まって楽しいひとときを過ごしました。

恒例の、「忘年会で選ぶ2004年映画ベスト5」の選

考を行いました。選考する皆さんが、すべての映画を観たわけではなく、また、今年の場合は、とくに票を集める作品もなく、混戦でした。結果は以下のとおりです。

第1位「笑の大学」、第2位「父と暮せば」、第3位「ラブストーリー」、第4位「モーターサイクル・ダイアリーズ」、第5位タイ「隠し剣 鬼の爪」、第5位タイ「スウィングガールズ」、補欠(高得点順)「シルミド/SILMIDO」、「延安の娘」、「カレンダー・ガールズ」、「誰も知らない」、「草の乱」、「お父さんのバックドロップ」、「世界の中心で、愛をさけぶ」、「ミスティック・リバー」、「ドラムライン」、「バイオハザード II アポカリプス」、「解夏」。

【例会作品選定会議開催のお知らせ】

今後の例会作品を考えるため、下記のとおり例会選定会議を行います。皆さんのおススメの映画を出し合って、今後もよい例会を続けていきたいと思えますので、多くの皆さんの参加をお待ちしています。

名称 例会選定会議

日時 2005年2月4日(金)午後7時から午後8時頃まで

場所 藤和ハイタウン談話室(東加古川サティ横)

内容 第19回から第21回まで(2005年7月・9月・11月分)の例会で鑑賞する作品についての検討

参加方法 直接会場にお集まりください。はじめての方は、東加古川のサティから携帯電話に連絡ください。迎えに行きます。

【ご意見をお待ちしています】

映画の感想や意見など、このニュースへ記事をお寄せください。ファックスまたはメールで投稿ください。200字までにまとめていただければ、ありがたいところです。

また、おすすめ作品をファックス、メールや例会会場のアンケート用紙でお知らせください。

加古川シネマクラブ 〒675-0101

加古川市平岡町新在家 752-46 B-313 山本方

TEL 090-9283-0435 FAX 078-935-8528

E-MAIL cinemaclub@nifty.com

<http://homepage3.nifty.com/cinemaclub>

会員数 186人(11月17日現在)